

Press Release

2021年4月14日

日本公認会計士協会

JICPA オンラインカンファレンス開催について

日本公認会計士協会は、2021年4月13日に「品格ある活発な資本市場の形成への貢献」をテーマに収録配信型オンラインイベント「JICPA オンラインカンファレンス」を開催いたしました。当日は公認会計士や資本市場関係者等が約270名の参加となりました。

少子化による人口減少と高齢化による人生100年時代を迎える我が国においては、国民の資産形成の手段であり、企業への成長資金を供給する機能を有する資本市場の重要性が益々高まってきております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響は多くの上場企業等の経済活動に影響を与えており、不確実な経営環境において、経営者の視点による企業情報の開示の充実が投資家の投資判断にとっても、またコーポレートガバナンス改革のメカニズムの基本となる投資家と企業との建設的な対話においても重要となっております。

さらには、監査人による監査報告書において監査のプロセスに関する情報提供（監査上の主要な検討事項（KAM）の記載）が求められる今日においては、公認会計士が、監査人として、また、企業内会計士として、企業情報開示の信頼性を確保するという使命を全うすることが、資本市場がその機能を十分に果たす鍵となると考えております。

こういった背景において、「JICPA オンラインカンファレンス」が、規律正しく活発に機能する「品格ある活発な資本市場」の実現に向けて、公認会計士が社会から期待される役割を果たすために、公認会計士が自らの使命を改めて心に刻み、使命の自覚を行動に表すきっかけとする場となり、また、資本市場関係者の方々との対話を通じて協働を促す機会になることを願い、今回開催をさせていただきました。

本オンラインカンファレンスでは、金融庁 古澤知之 企画市場局長から「コロナ後の経済社会を見据えたガバナンス改革及び会計監査の信頼性確保に向けた取組み」をテーマにご講演いただいた後、2つのパネルディスカッションを行いました。1つ目のパネルディスカッションでは、以下の5名の方々をパネリストにお迎えし、当協会手塚正彦会長がモデレーターを務め、「品格ある活発な資本市場の構築に向けて ～資本市場関係者が果たすべき役割と今後の展望～」をテーマに意見交換を行いました。

- ・清田瞭 氏 株式会社日本取引所グループ 取締役兼代表執行役グループ CEO
- ・宮園雅敬 氏 年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) 理事長
- ・井上俊剛 氏 金融庁企画市場局参事官
- ・林田英治 氏 JFE ホールディングス株式会社 特別顧問
- ・片倉正美 氏 EY 新日本有限責任監査法人 理事長

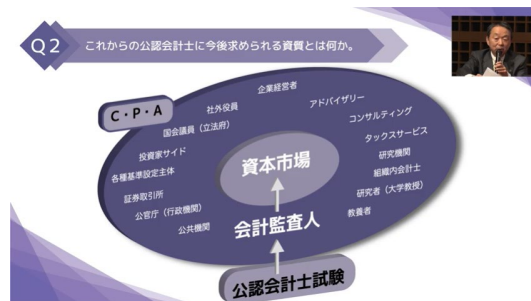
また、2つ目のパネルディスカッションでは、以下の4名の方をパネリストにお迎えし、当協会 柳澤義一副会長がモデレーターを務め、「会計プロフェッションの人財育成とあるべき資質～公認会計士に求められるもの～」をテーマに意見交換を行いました。

- ・櫻井久勝 氏 公認会計士・監査審査会 会長
- ・増一行 氏 三菱商事株式会社 代表取締役 常務執行役員 CFO
- ・小林麻理 氏 早稲田大学大学院政治学研究科 教授
- ・井野貴章 氏 PwC あらた有限責任監査法人 代表執行役

本オンラインカンファレンスは4月17日(土)15時から同一内容を再配信いたしますので、ご興味のある方は是非以下のリンクからご登録の上、ご視聴ください。

<https://jicpaonlineconference2021.com/>

※日本公認会計士協会会員の方はCPEONLINEからお申し込みください。



以 上